



NO.1388

10月30日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七



日本共産党

市長候補 飯田敏勝氏擁立



日本共産党 網走市委員会
は、水谷市政の3期12年間の市政について評価・分析をしました。
水谷市政は、まず第1に、

国政に対する政治姿勢において問題があります。消費税増税をはじめとして、暮らしを破壊する政治、大企業や富裕層優先する政治、大軍拡で国民には冷たい政治に對して「特に障害はない」として一定の評価をしている」という態度をとっています。
第2に、2元代表制である議会に對する市政運営にも問題があります。2元代表制の尊重という点では、議会への丁寧な説明、協議などでは議事を軽視する態度が際立っています。新型コロナウイルス対策での市民の不安に對する対応やスポーツ体験イベントでの対応やでは情報を開示しませんでした。ごみの最終処分場については、1市4町の広域化推進協議会で、「市民や議会の理解を得てから広域化の協議に参加すべき」との文教民生委員会の提言や第1回定例会での予算に賛成する会派の「付帯意見」を無視し、一方的に斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会を設立しました。これらの議事を軽視する市政運営は目に余る状況にあります。

網走市長選の立候補者による公開討論会

「市民グループ まちのことを考える会」から飯田氏に、「任期満了に伴った10月30日告示、11月6日投票の網走市長選を控え、私たちは網走市長選に立候補を表明している方々を招いた公開討論会のインターネット配信を企画しております。公開討論会の最大の目的は、網走市の舵取り役を務めようと考えている方々のまじりくりに寄せる想いを一人でも多くの網走市民に伝えることです」と参加の申し込みがありました。飯田氏は参加します。
【公開討論会ネット配信】
日時 10月29日(土) 午後6時～8時
会場 マ・シマシマ(網走藻琴267)
配信 YouTubeチャンネルまたは
Instagramライブ配信

松浦奮戦モロ



網走市長選挙が30日から始まりますが、飯田敏勝氏の決意の立候補に心から感謝します。また、多くの市民のみなさんから「必ず選挙をやってくれ」の声に込めることができ嬉しく思っています。同時に、遅れた立候補表明となったことから、あらゆる作業や準備が10日間ほどで終わらせることが求められていることから、毎日が忙しく夕ご飯は10日以上事務所でインスタント食品を食べて空腹を満たしています。

しかし、この忙しさは、候補者を立てることができたからこそその忙しさなので、大変充実した感覚で作業を進めています。候補カーも出来上がり審査も終わりましたので、訂正が必要な書類の作成に取り組んでいます。何とか今夜中(26日)には仕上げたいと奮闘中です。市長選挙で「いいだ敏勝」さんの必勝のため全力で頑張ります。

村中賢一



先週、総務経済委員会で秋田県横手市と山形県天童市などを視察

させていただきました。横手市はバス路線が廃止されていく中で、持続可能な公共交通をどうしていくかを検討し、①路線バス②循環バス③タクシィ会社とのデマンド交通④住民による旅客運送など様々な方法を使って住民の足を確保していることがわかりました。

また、天童市のふるさと納税の取り組みは、さくらんぼ、桃、りんご、ラ・フランスなどのフルーツを中心にした返礼品でまちのファンを増やし、観光人口も増やして行く計画です。返礼品の選定や苦情対応を8人の市職員が行い、きめ細かい対応に心がけているということでした。

視察は良かったのですが、家に帰ってから検査をするとコロナ感染してしまい、4日間熱と喉の痛みに苦しみました。早く治して、市長選に向けて駆け巡ります。

流水

多くの市民の声に
応えて急遽網走市長選に出馬を決めた飯田氏(元市議)は、いつの時も市民の声に寄り添う心と勇氣を持っています。心から敬意を表するものです。▼

早々と4選出場を表明した水谷市長は、ごみ問題、新庁舎問題、最近ではホテルの重油漏れなど、市民を無視する市政を行って来ました。9月議会の決算審査認定が、賛否同数となり(市議会史上初)議長賛成で認定される異常な事態と報道されました。市民からは黙って無投票4選を許してはならぬと、各方面から声が上がりました。飯田氏は「ごみ問題など水谷市政12年間にわたる市政運営は、市民に寄り添っていない、市長選の無投票は避けなければならぬ」と決意表明しました。飯田氏を支持し協力しようという決意するものです。今回のように困難な状況での立候補は市民の願いにこたえるものです。市民みなさんのご協力、ご支援を心より切に望むものです。▼天都山の紅葉が進む、紅葉は黄色が多く、赤が無いので真っ赤なランニングシャツを着て走り、紅葉に色合いを添える。紅葉に目を奪われていて、ドンクりに足を取られた。ナラタケも昨年より10日も遅れて頭を出し、ミソ汁の具となった。

アスリート命

